

ボランティア「エンゼルQ」



三角巾の代わりにス
ーパーの袋、固定具
に段ボールやネクタ
イ等身近な物を利用
して応急手当。



活動内容

- 1) 救急援助活動・地域の在宅要援護者等への援護活動
- 2) 救急法技術・理論の習得と実践に関する活動
- 3) ボランティア思想の普及に関する活動
- 4) 会員の親睦に関する活動
- 5) その他、目的達成に必要な活動

「日赤救急法講習会」修了生のアフターケアとして、習得技術を活かした活動への参加を進め、地域住民のための救急ネットワークづくりを目指す。

<活動日時>

毎月第1土曜日 午後1時30分～3時30分

定例復習会ではレサシアンやAEDを使った心肺蘇生法の訓練や三角巾を使った骨折の応急手当・止血方法など確認。技術の研鑽に励んでいます。

団体名の由来

赤十字の看護師さんのイメージから「天使」を連想し「エンゼル」、そして救急法の「救」をアルファベットに文字って「エンゼルQ」と名付けた。

団体のあゆみ

- ◇昭和61年発足 日赤講師指導のもと活動を始める
- ◇大東市地域防災総合訓練参加・協力
(心肺蘇生法・救護者の搬送・応急手当て・救命救急士への引継ぎ)
- ◇日本赤十字救急法講習会協力
- ◇視力障害者ガイドヘルパー
- ◇一人暮らし老人訪問・防災への備え、点検、指導
- ◇身体障害者体育大会・もちつき大会等行事の手伝い・介助
- ◇市民まつり等のイベントで救急法ミニ講習実施
- ◇平成2年 レサシアン人形・担架の導入
- ◇平成4年 優良ボランティアとして表彰を受ける
- ◇平成5年 トレーナー・ヘルメット完備



- ◇平成 7 年 阪神淡路大震災救援ボランティア活動・炊き出し
定例学習会の場を大東消防署へ移籍
- ◇平成 9 年 大家連・大精協 夏期合同キャンプ訓練
なみはや国体・ふれ愛ピック参加、協力
- ◇平成 17 年 A E Dを用いた学習導入
- ◇平成 28 年 30 周年



エンゼルQは消防署職員・救命救急士の指導を受け、救急技術の向上を目指してきました。「日赤救急員適任証交付者」及びこれに類した講習の修了者によって組織されている大阪府下でも数少ないグループです。野外訓練では会員の親睦を深め、人との繋がりを大切に日頃から最新情報の共有に努めています。

問合せ：社会福祉協議会 TEL 072-874-1082